

令和3年2月11日

加盟団体責任者並びに会員各位

(公印省略)

町田市剣道連盟

会長 比良田健一

全剣連称号審査会実施について

西東京剣道連盟より称号審査会の連絡がありました。貴団体会員の受審希望者に周知のうえ、期日までに一括して申込み願います。

記

錬士審査料 18,400円(選考料、西東京剣道連盟手数料含む)

錬士受審者は、要項を参考に自筆の錬士受審申請書(本人用)、自筆の小論文を指定サイズの封筒に入れ、講習手帳を添えて提出下さい。
(有資格:①平成30年2月以降、講習会に1回以上出席があること。
有効期間3年。②加盟団体主催の大会において3回以上の審判歴を記載すること)

加盟団体会長の錬士候補者推薦書と錬士称号候補者推薦状を添付してください。

教士審査料 21,500円(選考料、西東京剣道連盟手数料含む)

教士受審者は、自筆の教士受審申請書(本人用・顔写真添付)、講習手帳を添えて申し込みください。

(有資格:①平成30年2月以降、講習会に1回以上出席があること。
有効期間3年。②加盟団体の認める指定場所において週1回以上1年以上の指導歴を有すること。)

加盟団体会長推薦の教士候補者推薦書と教士称号候補者推薦状を添付してください。なお、教士称号候補者推薦状には、指導歴を必ずご記入下さい。

申込期限 令和2年2月16日(火) 必着(メール、手渡し不可)

申込場所 町田市剣道連盟事務局
〒194-0045 町田市南成瀬5-18-9 コムロコーポ202
TEL/FAX 042(785)4947

申込方法 申請用紙を、事務局へ郵送またはポストイング。
受講料は、町剣の口座へ振り込み願います(下記参照)
○ ゆうちょ銀行 記号10080 番号30392791

口座名 マチダシケンドウレンメイ

※西東京剣道連盟称号推薦委員会で不合格となった者は審査料を全額返金します。

振り込み通知書	
所属団体	
振込年月日	年 月 日
振込金額	55,200円
取扱機関	ゆうちょ銀行
振込項目	錬士・教士 審査料
内 訳	錬士 審査料 1名につき 18,400円 合計 3名 金額 55,200円
	教士 審査料 1名につき 21,500円 合計 名 金額 円
	合計金額 55,200円
振 込 先	ゆうちょ銀行
	記号 10080
	番号 30392791
	口座名 マチダシケンドウレンメイ

※ 団体名が明記されていない場合や期限が過ぎた場合は受け付けられませんのでご注意ください。

剣道・居合道および杖道教士称号審査会要項

1. 受審資格

錬士七段受有者で、七段受有後2年以上を経過（令和1年5月31日以前に取得）した者。

※上記対象者で東京都剣道連盟における級位・段位・称号の審査等に関する規程および実施要領第21条第2項の資格を有する者。なお、講習会の有効期間3年は、平成30年2月以降とする。

今回は、新型コロナウイルス感染症の影響により、講習会が中止となったため、指導者講習会は1回以上とする。

※東京都剣道連盟では、上記対象者を称号推薦審議会に諮ったうえ全剣連へ推薦する。

※年齢基準は、審査当日（令和3年5月3日）とする。

3. 小論文

(1)課題 剣道の課題「剣道指導者としてのあり方」、居合道の課題「称号（教士）としての指導への取り組みについて」、杖道の課題「称号（教士）としての指導と今後の杖道普及への具体的な取り組み」

※再受審者についても上記課題の小論文提出といたします。

(2)字数 800字以上1,200字以内

(3)用紙 400字詰め原稿用紙（市販のB4縦書き）用紙1～3行目に表題と登録都道府県名である東京都と氏名を記し、4行目2段目より書くこと。必ずボールペンまたは万年筆を使用すること。原稿用紙の右上をホッチキスで止めること。

(4)提出 封筒長3（長さが23.5cm・幅が12cm）の表に「剣道称号教士受審」・「居合道称号教士受審」・「杖道称号教士受審」のうち該当するものを、裏に登録都道府県である東京都と自分の氏名を表記のうえ封印すること。

4. 審査の方法

この度、新型コロナウイルス感染拡大防止や被害の減少に協力するため、試験会場での称号教士筆記試験を中止し、上記のとおり課題に対する小論文提出の形式で実施し、小論文を採点のうえ審査会に付議して合否を決定する。

消費税含む。

7. 合格発表

審査終了後、合格者決定通知と証書を合格者の登録都道府県剣連に送付する。後日、全剣連月刊「剣窓」6月号および全剣連ホームページ(<http://www.kendo.or.jp/>)に合格者の氏名を掲載する。

8. 個人情報保護法への対応

以下を申込者に周知して下さい。

申込書に記載される個人情報（登録県名、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等）は全日本剣道連盟および東京都剣道連盟が実施する本審査会運営のために利用する。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体（掲示用紙、ホームページ、剣窓等）に公表することがある。更に、剣道・居合道・杖道の普及発展のため、マスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

剣道・居合道および杖道錬士称号審査会要項

1. 受審資格

- (1)六段受有者で、受有後1年以上を経過（令和2年5月31日以前に取得）した者。
- (2)五段受有者で、受有後10年以上を経過（平成23年5月31日以前に取得）し、かつ、年齢60歳以上の者（称号・段級位審査規則第11条2項による特例）。
- ※上記対象者で東京都剣道連盟における級位・段位・称号の審査等に関する規程および実施要領第21条2項の資格を有する者。なお、講習会の有効期間3年は、平成30年2月以降とする。
- 今回は、新型コロナウイルス感染症の影響により、講習会および大会が中止となったため、審判講習会は1回以上、審判歴は3回以上とする。
- ※東京都剣道連盟では、上記対象者を称号推薦審議会に諮ったうえ全剣連へ推薦する。
- ※年齢基準は、審査当日（令和3年5月3日）とする。
- ※全剣連社会体育指導員中級取得者は小論文提出を免除する。

3. 小論文

- (1)課 題 剣道・居合道・杖道共に平成19年3月14日制定の「剣道指導の心構え」の要点を記し、それをふまえたうえでのあなたの剣道・居合道・杖道修業について述べなさい。
- (2)字 数 400字以上800字以内
- (3)用 紙 400字詰め原稿用紙（市販のB4縦書き）。用紙1～4行目に表題と登録都道府県名である東京都と氏名を記し、5行目2段目より書くこと。必ずボールペンまたは万年筆を使用すること。2枚の原稿用紙は右上をホッチキスで止めること。（凡例参照）
- (4)提 出 封筒長3（長さが23.5cm・幅が12cm）の表に「剣道錬士受審」・「居合道錬士受審」・「杖道錬士受審」のうち該当するものを、裏に登録都道府県である東京都と自分の氏名を表記し封印すること。

4. 審査の方法

- (1)小論文の審査
全剣連は小論文について、課題に対して適切な内容でまとめられているか、剣道・居合道・杖道に対する受け止め方と文章の表現能力等について審査を行う。
- (2)審査会による審査
全剣連は小論文を採点のうえ審査会に付議して合否を決定する。

5. 選考

6.

7. 合格発表

審査終了後、合格者決定通知と証書を合格者の登録都道府県剣連に送付する。後日、全剣連月刊「剣窓」6月号および全剣連ホームページ（<http://www.kendo.or.jp/>）に合格者の氏名を掲載する。

8. 個人情報保護法への対応

以下を申込者に周知して下さい。

申込書に記載される個人情報（登録県名、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等）は全日本剣道連盟および東京都剣道連盟が実施する本審査会運営のために利用する。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体（掲示用紙、ホームページ、剣窓等）に公表することがある。更に、剣道・居合道・杖道の普及発展のため、マスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

西東京剣道連盟称号候補者推薦内規

【令和3年5月称号審査：参考配付】

本内規については現行どおり変更はありませんが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う特例措置として受審資格が緩和されています。

西東京剣道連盟においても合同稽古会を中止としているため、合同稽古会3年で5回以上の資格基準の適用は行いません。

1 受審資格

(1)東京都剣道連盟における級位・段位・称号の審査等に関する規定および実施要項
第21条第2項の資格を有する者。

前項の資格(第21条第2項)は次による

錬士…東京都剣道連盟が認める審判講習会を3回以上(有効期間3年)受講し、かつ加盟団体等の主催する大会において5回以上の審判歴を有する者

教士…東京都剣道連盟が認める指導者講習会を3回以上(有効期間3年)受講し、かつ加盟団体等の認める指導場所において週1回、1年以上の指導歴を有する者

(2)西東京剣道連盟において剣道錬士・教士称号の推薦条件について
西東京剣道連盟の登録会員であって、次の条件を満たしている者。

① 剣道の指導的立場にあり、社会的見識を持つ者

② 西東京剣道連盟の活動に貢献している者

[合同稽古会3年で5回以上 各行事への参加・協力]

③ 受審資格の東京都剣道連盟が認める審判・指導者講習会3回以上の受講については、東京都剣道連盟、西東京剣道連盟の共催する講習会の受講を原則とする。

(やむを得ず他団体で受講するときは、西東京剣道連盟事務局を通じて申し込むこと)

※西東京剣道連盟では対象者を称号推薦委員会に諮ったうえ推薦条件、受審資格、実施要領に該当すると認められた者について東京都剣道連盟へ推薦する。

2 実施要領

(1)錬士を受審しようとする者の備えるべき要件

① 剣道実技の修練を続けている者

② 剣道の指導的立場にある者として、社会的識見に富み、健全な社会生活を営む者

③ 加盟団体が行う講習を受け、錬士として必要とされる、日本剣道形・審判法・指導法の知識、実技について能力の認定を受けている者

(2)教士を受審しようとする者の備えるべき要件

① 剣道実技の修練を続けている者

② 錬士以下を指導する立場にある者として、社会的識見に富み、健全な社会生活を営む者

③ 全剣連または加盟団体が行う講習を受け、教士として必要とされる、日本剣道形・審判法・指導法の知識、実技について能力の認定を受け、かつ剣道の指導および審判の経験を有する者

※23年度より、中級上級ともに、認定者ならびに認定の条件を充たした者について、「全剣連社会体育指導員(上級)認定者は剣道称号「教士」筆記試験の免除、「全剣連社会体育指導員(中級)認定者は剣道称号「錬士」の小論文提出免除の対象者とする。(写添付)

令和 年 月 日

西東京剣道連盟
会長 宮林高夫 様

団体名
会長



教士 候補者推薦書

推薦者数	名
------	---

番 号 全剣連番号	氏 名 (旧 姓)	生 年 月 日	性 別	錬士取得年月	試 験 会 場
				七段取得年月	
	()		男・女		
	()		男・女		
	()		男・女		
	()		男・女		
	()		男・女		
	()		男・女		
	()		男・女		

※ご記入の個人情報は当該事業目的以外には一切使用しません。

なお、ご記入の個人情報は「財全日本剣道連盟および加盟団体における個人情報保護規定」に則り適正かつ安全に管理します。

統計・分析に使用することはありますが、その場合には個人を特定できないように加工して使用します。

教士称号候補者推薦状

令和 年 月

団 体 名			
ふ り が な		生 年 月 日	
候 補 者 名		大・昭 年 月 日	
現 住 所	〒		
電 話 番 号		職 業	
最 終 段 位 取 得 年 月 日			
剣道に関する 役職名および経歴			
西東京剣道連盟 ブロック講習会	(有効期間3年中)	回(分かる範囲で3回以上をご記入ください)	
西東京剣道連盟 合同稽古会	(有効期間3年中)	回(分かる範囲で5回以上をご記入ください)	
指 導 歴 および 指 導 場 所 (何年から週何 回何曜日にどこ で指導しているか を詳しく書いてく ださい)			
推薦者の意見			
推 薦 者 氏 名	印		

申請番号

全剣連称号・段位様式第 4 号
令和 年 月 日

*都道府県剣道連盟で記入する。
*申請番号は若年順に記入する。

- 1. 剣道
- 2. 居合道
- 3. 杖道

教士 受審申請書 (本人用)

※ 試験会場

*該当するものに○印をする。

※社会体育上級認定者（追認者除く）は
上記試験会場の記入は不要。

(申請都道府県剣道連盟)

東京都 剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段級位審査規則[第11条第1項]に基づき、
道 教士を受審いたしたく下記申請いたします。

記

フリガナ

フリガナ

1 受審者氏名

(旧姓)

2 生年月日

年 月 日 生	年齢 満	歳
---------	------	---

3 性別

男 ・ 女

4 取得称号・段位

取得年月
登録県名

称号	錬士	段位	段
年 月	年 月	年 月	年 月
登録県名	登録県名	登録県名	登録県名

顔写真を貼って
から提出し
てください
(3 cm × 4 cm)

5 全剣連番号

6 住所

7 電話番号

	携帯番号	
--	------	--

8 職業

現職		前職	
----	--	----	--

※出来るだけ具体的にお書きください。(無職の方は前職を記入)

9 全剣連社会体育
上級認定年月

年 月 認定

※上級認定者のみ記入

[剣 歴] ※居合道は居合道歴、杖道は杖道歴を記入する。

申請番号

全剣連称号・段位様式第 4 号

令和 年 | 月 日

* 都道府県剣道連盟で記入する。

* 申請番号は若年順に記入する。

教士 受審申請書 (本人用)

- ① 剣道
- 2. 居合道
- 3. 杖道

※ 試験会場

東京

* 該当するものに○印をする。

※社会体育上級認定者（追認者除く）は
上記試験会場の記入は不要。

(申請都道府県剣道連盟) 東京都剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段位審査規則 [第 11 条第 1 項] に基づき、
道 教士を受審いたしたく下記申請いたします。

記

フリガナ

フリガナ

1 受審者氏名

トウキョウケンイチ
東京 剣 一

(旧姓)

2 生 年 月 日

50年 3月24日 生	年齢 満 45 歳
-------------	-----------

3 性 別

(男) ・ 女

4 取得称号・段位

称 号	錬 士	段 位	7 段
取得 年 月	20年 5月	25年 5月	
登 録 県 名	登録県名 東京	登録県名 東京	

顔写真を貼って
から提出してく
ださい
(3cm×4cm)

5 全剣連番号

3 5 8 7 4 3 2

6 住 所

〒105-0004
港区新橋4-24-2

7 電話番号

03-5405-2166	携帯電話	090-0000-0000
--------------	------	---------------

8 職 業

現職	会社員	前職
----	-----	----

※出来るだけ具体的にお書き下さい。(無職の方は前職を記入)

9 全剣連社会体育
上級認定年月

平成29年8月 認定

※上級認定者のみ記入

[剣 歴] ※居合道は居合道歴、杖道は杖道歴を記入する。

- 東京都剣道大会 2 位
- 国民体育大会出場

西東京剣道連盟
会長 宮林高夫 様

団 体 名
会長



錬士 候補者推薦書

推薦者数	名
------	---

番 号	氏 名	生 年 月 日	性 別	段 取 得 年 月
全 剣 連 番 号	(旧 姓)			
	()		男・女	
	()		男・女	
	()		男・女	
	()		男・女	
	()		男・女	

※ご記入の個人情報は当該事業目的以外には一切使用しません。

なお、ご記入頂いた個人情報は「財全日本剣道連盟および加盟団体における個人情報保護規定」に則り適正かつ安全に管理します。

統計・分析に使用することもあります。その場合には個人を特定できないように加工して使用します。

錬士称号候補者推薦状

令和 年 月

団 体 名			
ふ り が な		生 年 月 日	
候 補 者 名		大・昭 年 月 日	
現 住 所	〒 -----		
電 話 番 号		職 業	
最 終 段 位 取 得 年 月 日			
西東京剣道連盟 ブロック講習会	(有効期間3年中)	回(分かる範囲で3回以上をご記入ください)	
西東京剣道連盟 合同稽古会	(有効期間3年中)	回(分かる範囲で5回以上をご記入ください)	
役職名 および 経 歴			
推薦者の意見			
推 薦 者 氏 名	印		

申請番号

全剣連称号・段位様式第 5 号
令和 年 月 日

*都道府県剣道連盟で記入する。
*申請番号は若年順に記入する。

- 1. 剣道
- 2. 居合道
- 3. 杖道

錬士 受審申請書 (本人用)

*該当するものに○印をする。

(申請都道府県剣道連盟) 東京都 剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段級位審査規則[第11条第1項]に基づき、
道 錬士を受審いたしたく下記申請いたします。

記

	フリガナ		フリガナ						
1 受審者氏名		(旧姓)							
2 生年月日	年 月 日 生	年齢 満	歳						
3 性別	男 ・ 女								
4 取得称号・段位 取得年月 登録県名	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">段 位</td> <td style="width: 50%;">段</td> </tr> <tr> <td colspan="2">年 月</td> </tr> <tr> <td>登録県名</td> <td></td> </tr> </table>			段 位	段	年 月		登録県名	
段 位	段								
年 月									
登録県名									
5 全剣連番号									
6 住所	〒								
7 電話番号		携帯番号							
8 職業									
9 全剣連社会体育 中級認定年月	年 月 認定								

※認定者のみ記入。

